



『自殺に傾いた人への電話相談支援～若者のこころの特徴と対応～』

電話相談や相談窓口等で、さまざまな生きづらさを抱え、自殺に傾いた人と出会う機会がありますが、落ち着いて適切な対応をするには、知識や相談スキルを身につける必要があります。

本研修では、若者のこころの特徴を理解し、電話相談におけるリスクアセスメント、傾聴と共感等、相談支援の基本的コミュニケーション技法を学びます。

また、演習やロールプレイ等を通して、効果的な相談スキルを身に付け、日々の相談場面での対応力の向上をめざします。

日時 令和3年10月1日（金） 午前10時から午後4時まで

場所 ドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）5階 特別会議室
（大阪府中央区大手前2丁目1-7）

内容

- 講義
 - ・電話相談と面接相談の違い
 - ・援助（共感）的コミュニケーション技術
 - ・若者のこころの特徴について
 - ・「聴くこと（傾聴）」とは
 - ・基本的対応とリスクアセスメント
- 演習
 - ・反復
 - ・声のトーン
 - ・オープンクエスチョン
 - ・クローズドクエスチョン
 - ・反射
 - ・明確化
- ロールプレイ
 - ・リスクアセスメントの対応事例
- グループワーク

講師 関西福祉科学大学大学院 社会福祉学研究科 教授 都村 尚子 氏

対象

- ・大阪府内（大阪市・堺市を除く）の保健所・保健センター、市町村の保健・福祉関係部署で、精神保健福祉業務を含む相談支援業務に従事する職員
- ・大阪府内の高等学校（大阪市立・堺市立を除く）、大学、専修・各種専門学校等教育機関の教職員

[定員:40名（申込み先着順）]

その他

- ・会場定員の2分の1以下、十分な換気、間隔を空けた座席配置、アクリル板の設置など三密を避けながら、感染防止対策を講じ実施します。
- ・会場入口に手指消毒剤を設置します。
- ・発熱や呼吸器症状がある場合は、研修参加をご遠慮ください。
- ・受講者は各自マスクをご準備の上、着用をお願いします。
- ・新型コロナウイルス感染状況により、本研修を延期または中止する場合があります。

【申込み方法】 [研修専用申込みフォーム](#)から直接お申込みください。 ※ FAXでの申込みは不可
①氏名（ふりがな） ②職種 ③従事年数 ④所属機関名（例：大阪府こころの健康総合センター、〇〇市保健所、▽▽町立保健センター）⑥所属課名（例：事業推進課、予防課、障がい福祉課）
⑦電話番号 ⑧メールアドレス ⑨受講動機

【申込み先】 「こころのオアシス」 <http://kokoro-osaka.jp/> → 「自殺対策」 → 「自殺対策研修ページ」
*受講いただけない場合のみ連絡します。

【締切り】 9月17日（金）17時 *ただし、定員になり次第、締切りとさせていただきます。

【問合せ先】 大阪府こころの健康総合センター 事業推進課 担当：南・杉原・大岩
TEL 06-6691-2810（課直通） FAX 06-6691-2814

【会場へのアクセス】



- 京阪「天満橋」駅下車。東口方面の改札から地下通路を歩いて1番出口より東へ約350m。
- 地下鉄谷町線「天満橋」駅下車。1番出口より東へ約350m。
- JR東西線「大阪城北詰」駅下車。2番出口より土佐堀通り沿いに西へ約550m。

